

# ソーラーシェアリング

【solar-sharing】

「南相馬を農地と再エネ共存のモデル地区に」と中山さん。



昨春秋、南相馬市が創設した「南相馬復興大学」と連携しながら、「再エネの里」では今年9月30日よりソーラーシェアリングが始まった。農地で生産をしつつ、同時に発電も行う**半農半電**である。

上部の太陽光発電設備は約30kWの発電が可能で、発電された電気は東北電力に売電される。下部の農地では菜種などを栽培する。手順としては、太陽光発電装

置の工事手配をして、電力会社が、農業委員会に許可を申請する。

理事の中山弘さんいわく、「農業委員会の許可を得られるかどうかガギ」とのこと。実証実験のプラントは今後も増設予定だ。

**半農半電** 農業収入に加え、発電収入も得る手法。後継者の確保や、農業の持続的な存続が容易になることが見込まれる。

# デザイン

【design】

吉野敏充さんは、山形県新庄市でデザイン事務所を営む。「それぞれの地域のよいものを、本当に求めている人にうまく**マッチング**させることが、デザインのもつ力」がポリシーだ。

吉野さんは東京からのUターン組。「一人っ子なので実家の農業を守り、自身の子育てをしたかった」という。今では商品のデザインに限らず、消費者と生産者をつなげる市場「kitokioトルシェ」



吉野さんデザインのパッケージや、イベントのポスター。



ている。「僕らのような商業デザイナーは、生産者や企業の思いを消費者に伝えることが大きな役目だと思っています」。

**マッチング** 地元農家のいちごジャムが、製菓メーカーとつながったり。マルシェも、地元農家と

野敏充デザイン事務所  
www.toshimitsuyoshino.com

一般社団法人「えこえね南相馬研究機構」  
www.ee-minamisoma.jp

## まちづくりの最新語彙。

# コミュニティデザインの

特集  
コミュニティデザイン術  
community design life

【future-center】

# フューチャーセンター

今年7月に、東京都大田区「キネマ通り商店会」の元ふとん店を**リノベーション**してオープンした「キネマフューチャーセンター」。「フューチャーセンター」とは、対話により課題を解決するための場のこと。北欧発の概念だ。

当センターを運営するのは、映画を通し地域活性化を図るNPO法人「ワップフィルム」。2010年に映画「商店街な人」を製作。全国で上映してきた。この映画は京急電鉄蒲田駅の急行通過問題がテーマで、大田区の町工場の技術商店街の未来像も描かれている。上映後には、参加者間で意見を交

換する「フューチャーセッション」の場も設けてきた。「まちづくり」

「正解」はないが、「方程式」はある。課題を見つけて、同じ方向性の共感を得たり、人間関係を築いていくこと」というのが同NPO代表・高橋和勸さんの理念だが、そのハブとなるのが当センターだ。映画企画・製作、上映、地域交流、仕事創出（コワーキングスペース）という機能を備える。

**リノベーション** 略して、リノベ。空き家を改装して利用すること。地域振興の拠点に、リノベ物件が使われることが増えている。



「映画の町」復興への挑戦」とこの地を選んだ。

キネマフューチャーセンター（ワップフィルム）  
http://wupfilm.jimdo.com

言て高橋さん、同NPO事務局長・菊地真紀子さん、インターン青藤允さん。2階和室のスペースは研修会場などで使用。

